



山形県 水道広域化推進プラン【概要版 2/2】

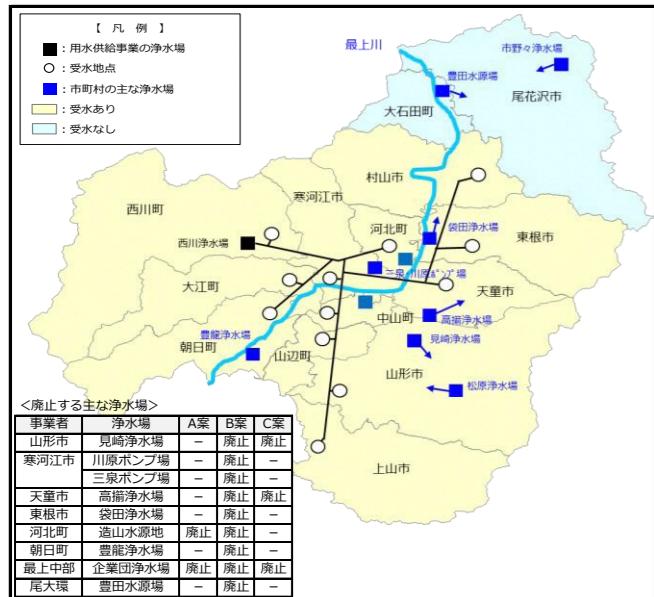


～村山・最上・置賜・庄内 の広域連携の方針～

村山圏域

◇ 村山圏域水道施設の最適化による基盤強化の推進

村山圏域水道事業広域連携検討会の検討内容をもとに施設の廃止、ダウンサイ징、再編整備を検討し最適化を目指します。施設の最適化を生かし、将来の事業統合を検討していきます。



施設の共同化

施設の共同化については、A案（自己完結型）、B案（寒河江ダム集約型）、C案（地域水源活用型）について検討しました。これらの案を基本にして、事業者の方向性も踏まえ、経済性、難易度及び災害時のリスク管理等を評価し「村山広域水道連絡調整会議」の枠組みを活用し検討します。検討内容は、村山圏域広域連携検討会に引き継ぎ、**圏域全体の施設の最適化**を検討していきます。

管理の一体化・その他の広域連携

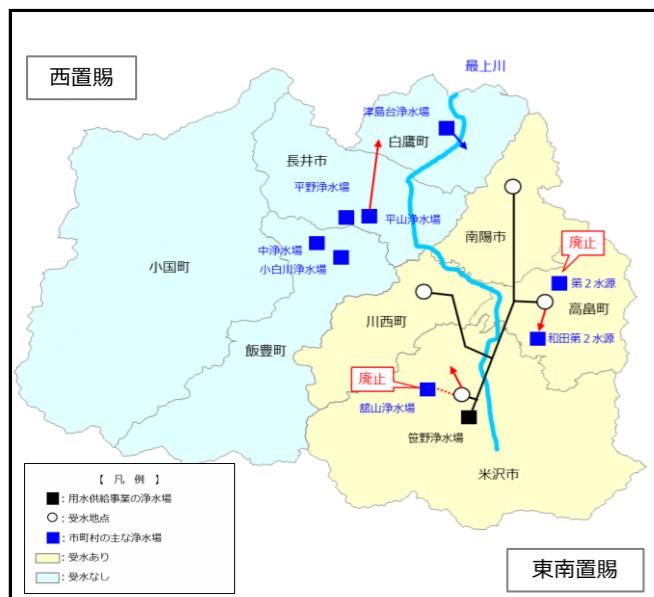
管理の一体化等については、共同発注、共同委託等の連携可能な項目を洗い出し、その仕様の統一、管理基準の標準化・共通化を検討します。

各事業者の財政状況、施設の整備状況（耐震化・老朽化）を整理し、格差は正等の課題を抽出します。**賛同できる事業者等、地域ごとの事業統合の検討**を進め、将来的にはより広い地域での事業統合を目指す検討をしていきます。

置賜圏域

◇ 定住自立圏構想共生ビジョンに基づく基盤強化の推進

定住自立圏構想共生ビジョンに基づき、置賜圏域水道事業広域連携検討会との連携により、基盤強化に向けて連携可能な施設の再編整備、ソフト連携等を継続して検討します。



施設の共同化

東南置賜地域では、**米沢市館山浄水場廃止**に伴い置賜広域水道の給水拡大を行い**広域連携**を図ります。高畠町の自己水源区域では、施設の最適化や廃止に伴う**置賜広域水道拡大**について検討します。西置賜地域では、**長井市から白鷹町へ配水する広域化**について、その効果、維持管理を含め検討します。その他、事業者においては施設のダウンサイ징、最適化を計画し検討します。

管理の一体化・その他の広域連携

現在実施している**公会計システム共同利用、共同発注を継続**し、さらに効果を高めるためにシステムの改良、賛同事業者の拡大を検討します。その他ソフト連携から取組可能な項目を選定し、賛同する事業者間での試行、さらには置賜圏域全体の連携を目指します。県水を水源とする東南置賜地域と自己水源とする西置賜地域での災害時の協力体制を検討します。

各事業者において、不公平感がないように施設の耐震化、老朽化対策を進め、賛同する事業者や一部地域での段階的事業統合等の統合のあり方を検討していきます。

最上圏域

◇ 新庄最上地区水道協議会を中心とした基盤強化の推進

協議の受け皿となる組織を新庄最上地区水道協議会等として、広域的な施設の再編整備、ソフト連携を検討し実現可能な基盤強化を推進します。

施設の共同化

企業局からの受水区域の拡大を目指し、**真室川町秋山浄水場を廃止**し、最上広域水道に切り替えて広域連携を図ります。**アイデア1 真室川町～鮎川村～戸沢村、アイデア6 新庄市～大蔵村、新庄市～舟形町への連絡管路の整備、各浄水場の廃止等、施設の共同化を検討**します。その他、事業者において、施設のダウンサイ징、最適化を計画し検討します。

管理の一体化・その他の広域連携

現在実施している**薬品、水道メーターの共同購入を継続実施**し、更に効果を高めるため新たな連携項目の賛同事業者、仕様の検討をします。最上圏域では、水道技術者が少ないとから各事業者の施設維持管理や施設運転マニュアルを情報共有し連携していきます。民間と連携した技術講習会を開催し人材育成、技術の継承と向上を図ります。

事業統合は、経済性だけでなく、事業経営面、人材共有および危機管理体制の強化等の効果を含め検討します。賛同事業者の事業統合、将来的にはより広い地域での事業統合を検討していきます。

庄内圏域

◇ 庄内圏域広域化による経営基盤強化の推進

広域化に向けた施設の最適化と経営の効率化およびソフト連携を進めながら、最終的には水平垂直統合を図ることにより、庄内圏域全体の経営基盤の強化を目指します。

施設の共同化

庄内圏域の水運用の効率化を図るため、代替水源を確保のうえ**酒田市小牧浄水場を廃止**し、施設の最適化を図ります。**政府の交付金を活用**し広域化および耐震化・老朽化対策を進め強靭化を推進します。

管理の一体化・その他の広域連携

共同委託、共同発注および事務系システムの統合等により経費削減に努めます。庄内圏域全体で、計画的な人材育成を推進します。また、断水時や災害復旧の協力体制にかかる連携について検討しています。

事業統合

鶴岡市・酒田市・庄内町の2市1町において、事業統合の基本方針や課題等を整理した後、**企業団を設立のうえ水平統合を実現**し、事業の効率化を図ります。併せて、**遊佐町を含めた庄内圏域全体の広域連携**について経済性や費用に現れない効果（災害時の協力、研修の共同実施等）を含め多角的観点から検討していきます。

施設の最適化を進め、広域水道用水供給事業を含めた更なる水道経営基盤強化について検討を行い、最終的には**市町で設立した企業団を経営主体とした垂直統合を目指し、庄内圏域全体の発展的広域化を推進**します。

今後の推進体制

○このプラン策定に当たった圏域ごとの「水道事業広域連携検討会」を引き続き主体としながら、具体的な事項については各地域ごとの広域水道連絡調整会議、水道協議会、新たに設置する事業統合に向けた協議会等において検討することとし、地域の実情に合わせた体制で進めていきます。